

# 座講の開放性と閉鎖性

和歌山県橋本市の事例

森本一彦

Openness and Closed Character of Zako : Case Example in Hashimoto City, Wakayama Prefecture  
MORIMOTO Kazuhiko

- ① 閉鎖性・開放性
  - ② 調査地の概要
  - ③ 座講の現在
  - ④ 座講の行事
  - ⑤ 賢堂の規約改正
  - ⑥ 向副の座講
- まとめ

## 【論文要旨】

本稿では座講の開放性・閉鎖性がどのような要因によって生じているのかを検討している。具体的には和歌山県橋本市の隣接する二集落の座講を検討の対象とした。賢堂の座講は開放的であるのに対して、向副の座講は閉鎖的である。賢堂の座講は明治時代から開放化を図っており、二つの座講は明治の時点で違いがあった。向副では江戸時代に座講をめぐる争論があり、「座入帳」が作成され、メンバーシップの強化に

つながったと考えられる。このことが向副の座講の閉鎖性につながったのではないかと考えられる。座講の開放性・閉鎖性は、立地条件、都市化の度合、宗教的な状況だけではなく、歴史的経緯も一つの要因であったと考えられる。

【キーワード】座講、開放性と閉鎖性、座入帳、争論、和歌山県橋本市